

平成28年 7 月定例会議事録

平成28年 7 月 4 日

鹿屋市教育委員会

○日 時 平成28年 7月 4日 (月)
15時10分から16時30分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風 呂 井 敬
教育委員	志 村 正 子
教育委員	蓑 田 繼 男
教育委員	黒羽子ひとみ

○関係者

教育次長	川 畑 晴 彦
教育総務課長	深 水 俊 彦
学校教育課長	中 山 春 年
生涯学習課長	榊 眞 一
教育総務課長補佐	有 村 道 尚
教育総務課管理係長	浅 井 和 成

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第12号 鹿屋市障害児就学指導委員会専門委員の委嘱について
- 5 報告
 - (1) 鹿屋市議会6月定例会の一般質問について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
議案第12号	鹿屋市障害児就学指導委員会専門委員の委嘱について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>現在、鹿屋女子高校において高校では初めての議会報告会が行われている最中である。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてから今月の選挙を前に、主権者教育の一環として、3年生30人を対象とした、議員9人、オブサーバー約5人、新聞社が数社入った議会報告会となっている。色々な試みがなされながら、女子高が活性化するのだと実感している。</p> <p>学校では、例年と同様に各学校における生徒指導上の問題や職員の事故やスピード違反等の自己管理がなかなか収まらない状況である。学校と教育委員会では、少しでも良い対応や未然防止に力を入れているかと思っているところである。</p> <p>昨年度に計画し、今年度から本市の大部分の中学校教諭を鹿児島市内の附属中等に派遣研修を実施しているが、3日間の研修を経て第一陣が帰鹿したところである。なかなか勉強になったとの感想であった。このような研修等の機会を与えることにより、教員の資質向上を図っているところである。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
教育長	発言がないので、報告はないものとする。
4	議事
	<p>(1) 議案第12号 鹿屋市障害児就学指導委員会専門委員の委嘱について</p> <p style="text-align: center;">【 本 議 案 は 非 公 開 】</p>

5	報告
	<p data-bbox="411 248 1114 286">(1) 鹿屋市議会 6月定例会の一般質問について</p> <p data-bbox="140 344 336 383">教育総務次長</p> <p data-bbox="440 344 699 383">資料に基づき説明</p> <p data-bbox="140 490 304 528">風呂井委員</p> <p data-bbox="411 490 1422 577">主権者教育だが、教育委員会として学校でどのような指導や研修を行っているか。</p> <p data-bbox="140 633 336 672">学校教育課長</p> <p data-bbox="411 633 1422 721">まずは職員が中立性を保ち、自分の意見を持ち、そして相手の話を聞く姿勢を持つように指導している。</p> <p data-bbox="140 777 240 815">教育長</p> <p data-bbox="411 777 1422 965">選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、県教育委員会高校教育課から具体的な各高等学校への通知、指導内容等が届いている。小・中学校も同様に、これまでとおりしっかりと指導が行われている。</p> <p data-bbox="440 976 1358 1014">教職員については、県教育センターでの研修に取り組んでいる。</p> <p data-bbox="140 1070 304 1108">風呂井委員</p> <p data-bbox="411 1070 1422 1205">鹿屋女子高校と北部学校給食センターは平成32年の供用開始の予定で、適正な規模でも財政的な負担が大きいと思うがきちんとした形でできるのか。</p> <p data-bbox="140 1261 336 1299">教育総務課長</p> <p data-bbox="411 1261 1422 1496">平成32年辺りで共用開始となる女子高校の事業費は約20億円超、北部学校給食センターは10億円超で想定している。現在、財政と協議を行っており、財源対策や平成32年前後に大きな財源偏りがないように、PFI事業や起債事業を視野に入れながら、毎年度の財政負担が平準化する方向で検討中である。</p> <p data-bbox="140 1552 304 1590">風呂井委員</p> <p data-bbox="411 1552 1422 1639">旧吾平町、旧串良町の学校は老朽化しており、吾平小はいまだに鉄枠のサッシがあるが、どのように考えているのか。</p> <p data-bbox="140 1695 272 1733">教育次長</p> <p data-bbox="411 1695 1422 1783">吾平小は築40年以上経っており、鉄枠等もある構造となっているが耐震度の問題はない。</p> <p data-bbox="411 1794 1422 2029">また、本市には、築40年以上の校舎が小中学校8校に10棟ある。この建物については、教育委員会が作成した約10項目のチェックリストをもとに毎月各学校の管理職が確認を行い、結果を教育委員会に報告する流れになっている。問題等がある場合は、施設担当職員が直接確認をし、必要に応じて専門業者に修繕依頼等をしている。</p>

教育長	<p>ここ2、3年で小学校の大規模改修予定もあったが、大規模改修になると金額が膨らみ、改修できる学校数に限りがあるため、改修規模を必要最低限に抑えて、できるだけ多くの学校数を改修できるように取り組む予定である。</p>
志村委員	<p>前年度12月定例会で質問した、大学等にあるように建物に寄贈者名をつけての個人寄贈の件は検討していただけたか。</p>
教育次長	<p>全国でも市民の方が利用される市民ホールや競技場等には、寄贈者名をつけて寄附をいただくような取組もあるようだが、鹿屋市の公共施設ではない。建物が学校施設となると、一部の方々の利用になるため厳しいのが現状である。</p> <p>また、参考までに、以前霧島ヶ丘公園のばら園拡充の際には、本市が地域住民を対象にばら債を発行し、資金を集めた例もある。</p>
教育長	<p>鹿児島大学には「稻盛会館」等の寄附者名がついた建物があるが、小中学校では同じような規模の例がほとんどないようだ。例がなければ作れないわけではないが、まずは勉強してみなければならぬ。</p>
風呂井委員	<p>学校建設に関して、防衛庁の基地交付金は活用できないのか。</p>
教育総務課長	<p>現在、全庁では、基地交付金でどのような活用ができるか調査が入っている。教育委員会では、市内全域の小中学校、女子高校が基地にも近いこともあり、一旦手を挙げさせていただき、庁内で取りまとめる作業に入っている。</p>
教育長	<p>ここ数年間に、これ以上押せない計画が集中している。金額が大きくなることから、PFI事業等の活用を視野に入れた財源の工夫をして、平準化を図る予定である。</p>
志村委員	<p>寿北小、笠野原小、鹿屋東中以外の学校も「既存施設の増改築」での対応予定か。</p>
教育長	<p>グラウンドが狭くなる等の問題がないよう進めている。</p>
6	<p>動議の討論</p>

教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
各課長 教育長	資料に基づき説明 次回の定例教育委員会は、8月8日（月）15時から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	以上をもって7月定例教育委員会を閉会する。 以上